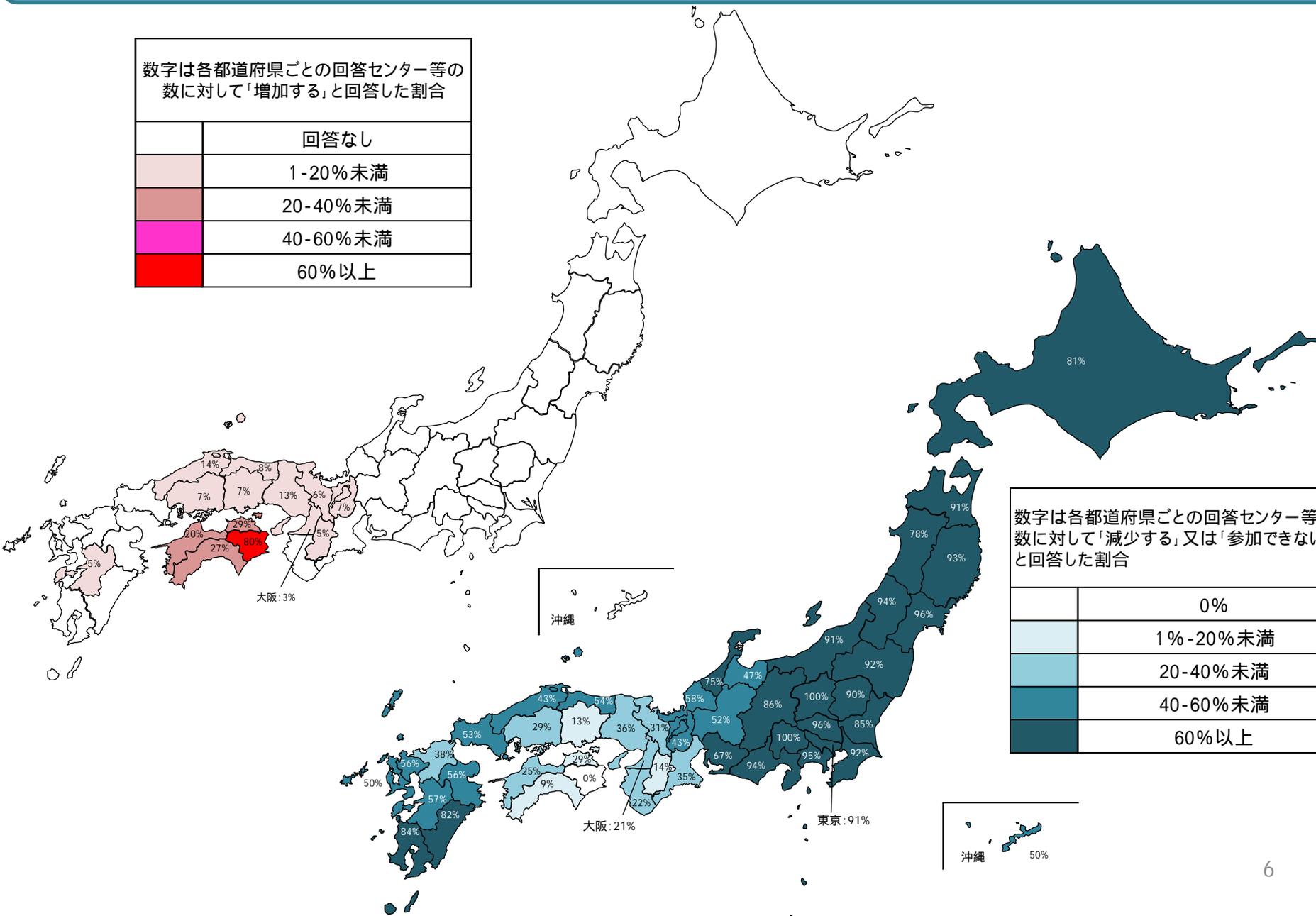


派遣元自治体の負担等(消費生活センター等アンケートより)

- 研修の参加回数について -

数字は各都道府県ごとの回答センター等の数に対して「増加する」と回答した割合

	回答なし
	1-20%未満
	20-40%未満
	40-60%未満
	60%以上



数字は各都道府県ごとの回答センター等の数に対して「減少する」又は「参加できない」と回答した割合

	0%
	1%-20%未満
	20-40%未満
	40-60%未満
	60%以上

鳴門市研修会場までのアクセス等

鳴門市研修会場までへのアクセスについて、空港や駅、バス停からの公共交通機関の本数の少なさや乗換えに課題が見られた。

徳島県鳴門市まで(県外空港利用の場合) 各空港HPより

神戸空港より

- ・リムジンバス 2時間～2時間半 高速鳴門バス停下車

高松空港より

- ・バス 約40分 JR(高松～徳島)約60分 JR(徳島～鳴門)約40分
- ・自家用車(空港～鳴門IC)約70分

鳴門合同庁舎まで 徳島県等調べ

高速鳴門バス停より

- ・路線バス 約5分(片道110円) 市役所前 徒歩約10分
バスの発着は1時間に2～3本程度(6時台～21時台)
- ・市内循環バス 約21分(100円) 市役所前 徒歩約10分
バスの発着は1時間に2本程度(9時台～16時台)
- ・タクシー 約7分(1,000円程度)

JR鳴門駅より

- ・徒歩 約15分
- ・タクシー 約4分

徳島阿波おどり空港より

- ・路線バス 約13分(片道270円) 市役所前 徒歩約10分
バスの発着は1時間に1本程度(9時台～15時台)
- ・タクシー 約20分(2,300円程度)



鳴門市研修会場までのアクセス等

鳴門市において、宿泊施設が確保しにくい時期があった。

- ┆ 女子プロゴルフ大会開催(5/27～29)前後
- ┆ オーシャンカップ(ボートレース)開催(7/13～18)前後
- ┆ 夏休み(特に阿波踊り開催(8/12～15)前後)

当初は、5/26-27に行政職員対象の講座(相談支援)を鳴門市において試行予定であったが、3月上旬に徳島県より、当該大会開催を理由に研修時期の変更を要請された。

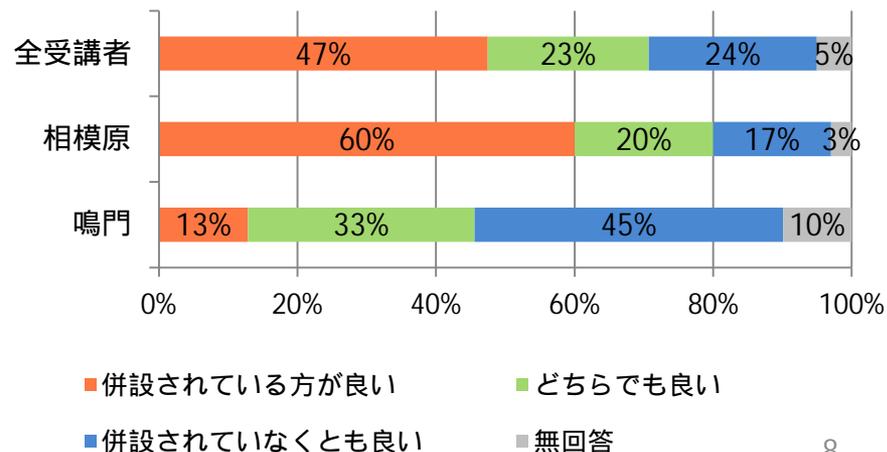
受講者アンケートでは相模原受講者の6割、鳴門受講者(徳島県:57%)の1割強が宿泊施設の併設を望んでいる。

合同庁舎から1km圏内のホテルの宿泊室数等

名称	客室	定員	合同庁舎からの距離
ビジネスホテル鳴門	53	67	1.0km
ホテル・ファーストシーズン	40	50	1.0km
ホテルアド・イン鳴門	52	63	0.85km

宿泊施設の併設について

相模原受講者の60%が宿泊施設の併設を望んでいる
鳴門受講者(徳島県:57%)の13%が宿泊施設の併設を望んでいる



前泊の有無等

前泊をしたのは18名、後泊は5名。

飛行機を利用したのは3名。

所属自治体の旅費規程上、徳島県への出張は飛行機が使えず鉄路の利用となる受講者もいた。

所属自治体の旅費規程上、飛行機の利用は可能だが、研修の開始時間に間に合わない可能性があるため利用しなかったという受講者もいた。

公用車・自家用車の利用は15名。

受講者の感想等

高速バスは往復で7,000円程度と経済的で、距離も意外と近く便利。【関西】

高速鳴門バス停で路線バスに乗るため30分待った。【関西】

相模原での研修は家庭があるため参加できなかったが、車での移動ができる徳島県での研修受講は負担が少なかった。【関西】

相模原研修施設へ行くよりも距離は近く費用も安いですが、かかる時間は東京方面に行くのと変わらない。【中国】

高速バスの利用も考えたが、天候や事故など道路事情で遅れることがあるため、鉄路を利用した。【四国】

公共交通機関(JR等)の利用を検討したが、徳島から鳴門までが不便であり、研修の開講時間に間に合わないため公用車を使用した。【四国】

JRのほか高速バスという選択肢もあるが、いずれも徳島～鳴門間が不便。JRの場合往路はスムーズだったが、復路は待ち時間が多く時間がかかった。【四国】

6時間以上の旅程、3回以上の乗換えはきつい。【九州】

乗換えが多く不便。【九州】

() 関西: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

徳島県における研修の運営

徳島県内からの専門家（講師）の確保が難しいこともあった。

受講者の地域的偏りがあり全国の消費生活相談員等と交流が図れない、キャリアがある相談員と情報交換できなかったとの声もあった。

徳島県から「徳島県の特徴を活かしたフィールドワーク」について、具体的な提案が5月下旬までなかったため、これまでの試行期間中には実施できなかった。

鳴門市研修会場の整備、運営について、徳島県から協力が得られた。

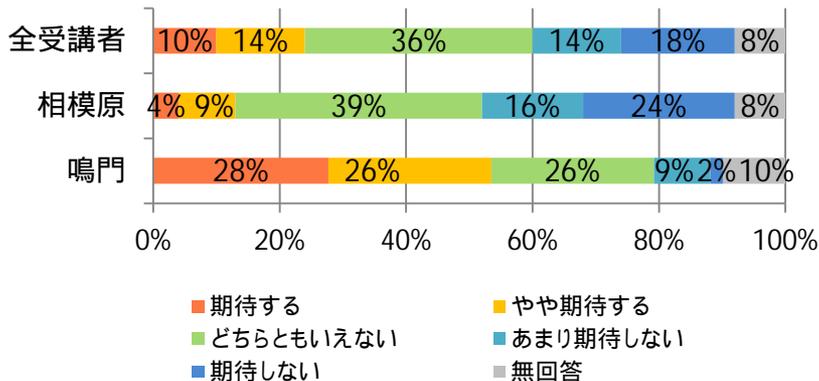
なお、受講者アンケート・消費生活センター等アンケートにおける徳島県の特徴を活かした研修への期待について聞いたところ、次のような結果となっている。

- | 受講者アンケートにおいて、相模原受講者の約1割強、鳴門受講者(徳島県:57%)の約5割強が「期待する」「やや期待する」と回答
- | 消費生活センター等アンケートにおいて、1割強が「期待する」「やや期待する」と回答

受講者アンケート

徳島県の特徴を活かした研修講座について

相模原受講者の「期待する」「やや期待する」を合計すると13%
鳴門受講者(徳島県:57%)の「期待する」「やや期待する」を合計すると54%



消費生活センター等アンケート

徳島県の特徴を活かした研修講座について

「期待する」「やや期待する」を合計すると12%

